

2014.03.22 sat — 05.11 sun

午前10時～午後6時(木・金は午後8時まで)入館は閉館の30分前まで 休館日: 毎週月曜日(ただし4月28日・5月5日は開館)・5月7日(水)

主催: 朝日新聞社 共催: 東京都写真美術館 企画協力: 東京富士美術館 特別協力: マグナム・フォト東京支社 後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本  90  ハンガリー大使館
協賛: 野崎印刷紙業



キロバ 1
ヤバ 0
パ 1
ト 年
の 目
の

懂ホ誰
れブも
たにが

Robert Capa, the 101st Year

東京都写真美術館

地下1階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

キャパ 101年目の パト

誰にも
ボブが
憧れた

Robert Capa, the 101st Year

「戦争の世紀」と言われる20世紀前半にロバート・キャパ(1913-54)は5つの戦争を撮影しました。今日、「戦争写真家」として揺るぎない地位を確立し、報道写真の伝説と化したキャパですが、その生涯は愛した女性ゲルダ・タローとの死別や映画界での失意、写真家を続ける上での葛藤など、決して順風ではなく、むしろ挫折と生き急ぐかのような焦燥感にさいなまれていたとも言えます。

一方で、「ボブ」の愛称で親しまれたキャパの笑顔、話術、そしてなによりも写真が同時代の人びとを魅了したことも事実です。その理由は、キャパが戦争ではなく、戦渦を生きる人間にレンズを向け続けたからこそでもあります。

本展は、生誕101年を記念し、新たにキャパの人間性と作品に向き合う機会として「plus 1(プラス1)」のコンセプトの下で企画されました。世界でも有数のコレクションである東京富士美術館の所蔵作品を中心に、キャパならではのユーモアと優しさ、生きる喜びと励まし、友人や恋人たちへの愛情が投影された作品に焦点を当てて紹介します。世に広く知られるはげしい戦闘場面ではなく、戦車の上で鼻をほじる男の子や軍服のまま編み物にいそむ女性兵士の姿からは、人びとに寄せるキャパの愛情が伝わってきます。

2014年、キャパの生誕から1世紀を超えた今、私たちは非人間的な動乱の中で、悲しみと情熱を胸に20世紀を人間らしく生きたひとりの等身大の男性として、ボブを振り返る機会に恵まれました。



防空壕へと急ぐ女性 スペイン、バルセロナ 1939年1月
東京富士美術館蔵



ゲルダ・タロー フランス、パリ 1936年
International Center of Photography 蔵

【本展の構成】

第1章「時代」

1932年にソ連の政治家トロツキーを撮影して以降、ドイツ軍から解放されて歓喜に沸くパリや建国後のイスラエルなどキャパが生きた時代を作品で概観します。

第2章「戦渦」

代表作のノルマンディー上陸作戦をはじめ、戦場の兵士たちや戦いの様子を捉えた作品を集めました。戦争写真家として輝き続けるキャパの名作を紹介します。

第3章「つかの間の安らぎ」

戦場と化した町や村で、キャパは人びとが人間性を取り戻した一瞬を切り取りました。喜びや平穩、遊び心に満ちたキャパの人柄を感じさせる作品の数々です。

第4章「友人たち」

女優イングリッド・バーグマンや国内初公開となる恋人ゲルダ・タローのほか、ヘミングウェイやピカソなど、友人の多かったキャパならではの肖像写真です。

第5章「人々とともに」

あふれる愛情とユーモアで、多くの人に愛されたキャパ。最終章は、彼の人間らしさが凝縮され、人びとの感情をも写し込んだ粒ぞろいの作品たちです。



ドイツ軍から解放された街で フランス、ジャルトル 1944年8月
東京富士美術館蔵

【その他の展示】

最期のカメラ

キャパが死の間際まで使用していたカメラ「Nikon s」(東京富士美術館所蔵)が特別出展されます。

ビンテージ・プリント

撮影直後に現像され、雑誌の原稿などに使用された貴重なプリントを展示します。

オリジナルインタビュー映像

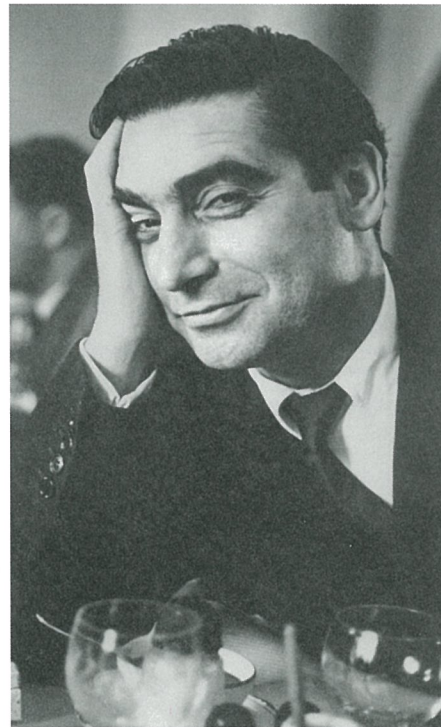
キャパの盟友であり、『LIFE』誌やマグナム・フォトの編集者だったジョン・モリス氏(97)が在りし日のボブを語ります。

キャパの肉声

会場では音声ガイド(別料金)によって、ラジオインタビューに答えたキャパの肉声を聞くことができます。

同時代のカメラ

ライカ、ローライフレックス、コンタックスなどキャパと同時代に活躍したカメラ(日本カメラ財団など所蔵)を展示します。



ロバート・キャパ 1951年 ルース・オーキン撮影
東京富士美術館蔵

Robert Capa ロバート・キャパ

1913年、ハンガリーのブダペスト生まれ。本名はアンドレ・フリードマン。30年代から写真家として各地の戦争や人々の暮らしをカメラに収めた。36年頃から、唯一自ら結婚を望んだと伝えられる女性、ゲルダ・タローとともにロバート・キャパの名前で作品を発表する。グラフィ誌『LIFE』などの特派写真家としてヨーロッパ戦線を記録し、中でもノルマンディー上陸作戦(Dデイ)を撮影した作品は高く評価された。終戦間際には女優イングリッド・バーグマンと恋に落ちた。47年、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、ジョージ・ロジャー、デビッド・シーモアらと写真家集団「マグナム・フォト」を設立。54年4月に初来日。翌月、第1次インドシナ戦争を撮影中に地雷に踏んで死亡した。55年、その業績を記念してロバート・キャパ・ゴールドメダル賞が設立され、以後毎年優れたフォトジャーナリストに授与されている。

2014.03.22 sat — 05.11 sun

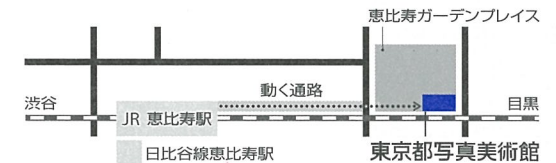
開館時間：午前10時～午後6時(木・金は午後5時まで)

入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜(ただし4月28日・5月5日は開館)・
5月7日(水)

観覧料：一般 1,100(880)円/学生 900(720)円/
中高生・65歳以上 700(560)円

※()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※観覧券は、ローソンチケット(Lコード31451)、チケットぴあ(Pコード766-029)、CNプレイガイド、イープラス、セブン-イレブンでも発売中(購入時に手数料がかかる場合があります)。団体など各種割引は会場窓口のみ。



■JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。■当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館

地下1階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 TEL: 03-3280-0099 www.syabi.com

Robert Capa, the 101st Year: They All Adored Bob

2014.03.22 sat — 05.11 sun

Tokyo Metropolitan
Museum of Photography



plus I

Tour de France 1939 Tokyo Fuji Art Museum Collection

<http://www.capa101.jp>